

9/26木夜

# 軍拡反対 暮らし守れ

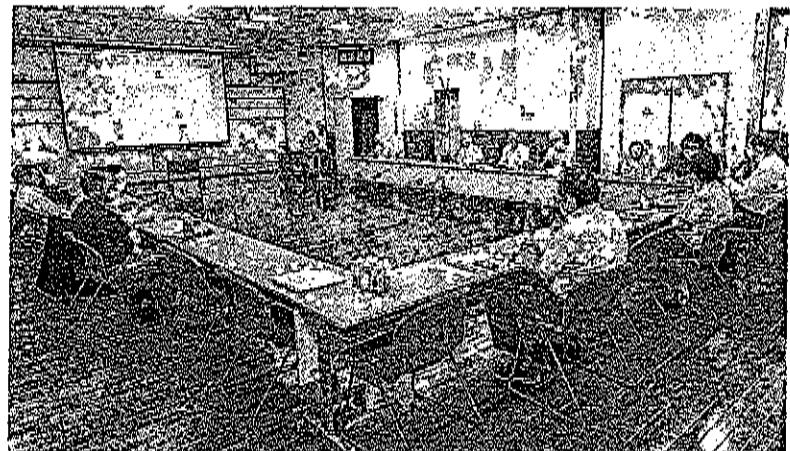
## 全国革新懇、総選挙へ議論

### 代表世話人会

全国革新懇は25日、都内で代表世話人会を開き、衆院解散・総選挙の緊迫した情勢のもと、各地の市民運動、憲法実施向上を求めてたたかいながら、民意を交換しました。日本共産党の志位代表が参加しました。

参加者は、岸田大輔（福島第一原発汚染水（アルカリ処理水）汚水計画）の運動を起した。

拡の本質はアメリカの先制攻撃戦略で日本が敵基地攻撃能力をもつて挑戦する」とだと強調し、「侵略的な平和の大本から打開する方策として、マ政治の責任で働く人の賃金を上げる」、「暮らしを支え格差をただす税・財政改革を」「島嶼じ上エネルギーを活用する」などの意見が出されました。



全国革新懇代表世話人会=25日、東京都内

の三つの改革が必要だとの意見が出されました。  
福島第一原発の汚染水（アルカリ処理水）汚水計画など運動を起した。

岸田政権を解散・総選挙に連じ込み、大軍が海を駆ける露骨な譴責がある。「安全神話」の復活を計れない運動が起されましたが、「その意見が出されました。

各分野から「辺野古の米軍新基地建設をめぐり、県の上告を棄却した最高裁判決は法の審査を果たしていない。基地反対の意

思を示す興味喫茶を計画しているが、「財界優先」「アメリカいいなり」の国民党政治を変えようとの訴えが響き、「大大会の拡大数を超えた」（鹿野）、「たたかう労働組合のバージョンアップを掲げて春闘をたたかった。労働者と組合が要求実現に

運動に連じ込み、大軍拡反対、暮らしを守るために各地の革新懇運動を発展させようと運動が示されました。

運動に連じ込み、大軍拡反対、暮らしを守るために各地の革新懇運動を発展させようと運動が示されました。

9月26日、東京で開催する「戦争する国を許さない、核廃止するいのち」というて報告がありました。来年の「地域・職場・青年革新懇、全国交流集会」の準備状況について確認しました。